

407 演説（中央大学創立三十年記念式祝辞）

〔『法学新報』第26卷1（293）号 大正5年1月1日〕

演説

爰に掲載する所は去十二月十二日挙行の中央大学創立三十年記念式に際し法学博士穂積男爵理化学博士菊池男爵か述べられたる祝辞にして記者か記憶の儘を識したるものなり混雑の際或は誤聞脱漏なきを保し難く其責一に記者に在り庶幾くは博士並に読者諸彦の諒せられんことを（記者識す）

○中央大学創立三十年記念式祝辞

本日中央大学創立第三十年記念式を挙げらるるに当り余は其設立者の一人として之に参列することを得るは余の最も光榮とする所なり。而して此祝賀の式場に於て演説を為さざるを得ざるに至りたるは余の衷心甚だ光榮とする所にして而も内心甚だ迷惑とする所なり。余は明治四十三年に学職を退きて以来市隱を以て自ら処り成るべく公会の席を避け来りたるを以て学会の講演以外は総て演説の請求を謝絶し来れり。然るに余か今日日本大
学理事の命令を受けて其記念式場に立ちて祝辞を述ふるに至りたる所以のものは中央大学は余に対して道徳上の命令権を有するを以てなり。余は本学の創立員の一人にして又現に社員
の末班に列し其關係最も久しきに係らず本学の為めに力を致したること最も少き者なり。然るに本学は常に余に対して過分なる優遇を与へられたり。例へば、余の疾病あるに当りては厚く慰問せられ、殊に一昨年重患に罹りたる如きは深厚なる同情を寄せられ、又た慶賀の事あるに際しては鄭重に祝意を表せられ、殊に余の法科大学在職二十五年祝賀記念の為に穂積奨学財団設立の挙ありたる如きは多額の金員を寄附せられたる等老学を待つこと懇切を極めらる。此れ余の常に感激措く能はざる所にして、本学理事の要求は如何に迷惑なるも背く能はざる義理の繼に縛られ居る次第なり。是れ、今日此席に立つに至れる所以なり。依つて是より本校の過去及び将来に関する感想を述へ、併せて本校の特色を論せんとす

本校は明治十八年呱呱の声を挙げてより爰に三十年之を自然人

の年齢より算ふれば既に人生の半に達し智識經驗正に円熟の期に入らんとするの時なり。然れとも之を無量寿を有する法人の年齢とすれば三十年の齡は尚ほ幼時にして三十年の祝賀は猶ほ子女の三歳の祝に齊しきものと考へられざるに非ず、法人は死せず法人の過去は限りあるも、法人の将来は限り無し。今ま中央大学なる法人は其過去に於て何を為したるかを顧みるに、本校は過去三十年に於て三たひ其名を改めたり。而して名は実の賓なり。本校は其名と共に三たひ其實を改めたり。本校の始めの名は英吉利法律学校にして後ち之を改めて、東京法学院と稱し後ち大学組織と為して東京法学院と稱し、其後更に中央大学と改稱せり。本校の英吉利法律学校時代は専ら外国法を教授せり。是れ他無し支那に於て刑名法律を攷究せし法家は儒家の為めに賤められたるより専門的法律學は東洋に興らざりき。是を以て輓近泰西文化の本邦に来るに當りては、先づ彼の法学を本邦に輸入して外法繼受の準備を為すの必要ありたるか為めなり。是れ本校が先づ外国法学を教授して他日本邦の法制備はり本邦の法学興るの地を為さんと努めたる所以なり。而して本校は偶々英法を修めたる者相会して設立したるを以て専ら英国の法学を教授するに至りしなり。此くの如くにして本校が其始めに於て英法を教授せるは本校に永久の特色を与ふるに至りたるものなり。英法の特色は其著実にして専ら事実
に適切なるにあり、故に英法教授を以て興りたる本校は其始めより其氣風を受け空理空論に走ることを避けて事実
に適切なる学理を教ふるを主とせり。其学風は「ボシチープ、スクール」にして、

英国の分析派歴史派に属して実証主義を尚ひ自然法派の先天的理論を容れさりしなり。本校の初期に於ける此学风は竟に本校に一の特色を与へたり。曰く何そや。華を去り実に就くの校風是れなり。一例を本校の身体なる校舎に付て云はんか、明治十

九年の第一回卒業式に臨みたる英国公使プランケツト氏は本校を評して裝飾無き学校と言へり。此の如く校舎の如きも質素を極め外観の美あること無しと雖も其構造に至りては極めて堅牢なり。本校は其体軀たる校舎の質素なるのみならず其動作に至りても外は極めて素朴にして内は極めて活潑なり。本校は「ベイスボール」や「ボートレース」等に付て外に派手なる評判を博するか如きこと無しと雖も、撃剣柔道等の如き内に活潑なる精神、身体鍛錬の方法を奨励するか如きは其一例なり。本校は斯の如く其形体及び動作に於て華美を避け質実を守ると雖も、之と同時に学校法人の脳髓と称すへき教員の銓衡に全力を集中して殆んど其教壇に法学界の精鋭を蒐むるの觀ありと云ふことを得へし。此点は特に本校理事者か本校の特色たらしめんと勵めらるる所なるか如し。斯の如く華を去り実に就くの校風を馴致したるは蓋し本校か其第一期に於て英法の教授を以て起り英法学の質実を尚ふの風ありたるに職由するものなり。本校の第二期は法学院時代なり。明治二十二年に本校か其名を改めたるは其実の改まりたるか為めなり。当時憲法既に発布せられ各種の法典も亦制定公布せられて本邦の法学は將に本邦の法律を基礎として興らざる可らざる時運に達したるを以てなり。故に本校の第二期法学院時代は本邦法学建設時代なりしな

り。而して本校は真正なる本邦法学の建設には尚ほ予め根本的に為すへき一大要件あるを確信せり。其は他にあらず本邦法学の基礎にして我国民の権義の根拠たる法典は本邦の法律家の手に成りたるものならざる可らざること、及び法典は自然法の旧主義に拠りたるものなる可らざること是れなり。一言以て之を蔽へは本邦法学建設の基礎は本邦の石ならざる可らざること是れなり。茲を以て本校は帝國議會開会の初期より外人の制定に係る当時の法典延期改修を提唱して謂はゆる法典延期戦を宣告し本校は其策源地と為り本校の教員は其参謀と為り、本校出身者は其戰士と為り、始めには商法の実施を延期せしめ、後には民法の実施を延期せしめ我同胞を我国情に適せざる法典より救ひ、我法学者をして自国の法典起草を外人の手に委するの汚辱を免れしめたり。此一事は純然たる外国法教授の時代より真正なる本邦法学の興起するに至る経過の最大要件にして我法学院は法律団体として能く其本分を完うしたるものと謂ふ可く、此一事は本邦の法学史上に特筆大書すへき功績なり。法典延期戦の事案より他校並に他の法曹政事家の協力に因りて其功を収めたるは言を俟たずと雖も本校か其中に在りて最も顕著なる地位を占め、其策源地と為りたるは何人も争はざる所なり。法典の改修既に成り本邦法学の基礎定まりたる後本校は其第三期に移り即ち其校名を法学院大学とし其後改めて中央大学と称し以て現今に至れり。此第三期は真に大学の本分を尽すへきの時なり。本校は前二期に於て泰西法学の輸入及び本邦法学興起の準備を了はり、今や將に本邦法学発展の期に入らんとす

本校は過去の二期に於て既に高等専門学府たるの任務を尽したりと雖も、前にも云へる如く法人の過去は短くして限りあり法人の将来は長くして限り無し。而して其限り無き長き将来に於て本校の尽すべき任務は大学たる最高学府の品位と実を具ふるにあり。本校の責任は重且つ大なりと云はざる可らず。而して此大責任を尽すの道如何。之に關して余の第一に本校に望む所は本校か倍々本校固有の校風を發揮し華を去り実に就き以て最高学府たるの眞価を具ふるに至ることなり。本校か従來の如く最も力を学校の脳髓たる教員の選択に致すは素より可なり。其他尚ほ図書館の整備、研究室の設置、機關雜誌の改良、卒業生の高等研究科の擴張等の必要は言を踈たさる所なりと雖も、余の特に注意を喚起せんとする所のは将来に於ては其教科目中の基礎的学科の設置を擴張し之を完うするに努むるの必要あること是れなり。従來私立専門学校に於ては多くは学生の卒業後直接に需要ある学科にのみ力を費し基礎的学科たる法理学及び法律史は比較的閑却せられ来りたるもの如し。斯の如きは決して最高学府たるの実を挙げ、其品位を保つ所以に非ざるなり。若し医学校にして基礎的科學たる解剖学、生理学を忽せにするものあらは、其学校は医術学校たるを得へし。医科大学たることを得へからず。若し法律学校にして其解剖学たり生理学たる法理学、法律史を忽にするものあらは其学校は、法術学校たるを得へし之に許すに法律大学たるの品位を以てす可らざるなり。基礎的学科を忽にする学校は職業学校視され竟に大学の生存競争に落伍して第二流学校たるに至らん。基礎的学科を修

めざる学生は卒業の後ちに於ける發達の資を欠き多くは僅に米櫃を得るに止まりて社会各方面の上位に進む者稀なるを常とす。今より後ち眞の大学たる資格を具へんとする学校は基礎的学科の整備を以て其根本の方針とせざる可らず。欧米の諸大学に於ても法理学、法律史及び之に属する基礎的諸学科は近年に至り其数を増し著しく進歩したるは此趨勢を示すものなり。最近英米両国諸大学の教授の協力に依りて英語以外の法理学書及び法律史の名著を網羅して之を英語に翻訳し「法理哲学大全」Legal philosophy Series 「法律史大全」Legal History Series 出版の挙あるか如きは明かに最近高等法学の趨勢を示すものなり。謂ふこと勿れ、法理学、法律史の如き米櫃に縁遠き学科は、実に非らずして華なり、之を去つて直接の用ある学科のみを修むるは即ち華を去りて実に就くなり。基礎的学科は華に非ず実なり、実の幹なり、実の根なり。其根に培ふに非されは其華美ならず、其実熟せず、本校か将来に大学たる最高学府の眞實を具ふるに至るは、先づ其基礎的学科の完備より始むるは即ち華を去り実に就く所以なるを思ひ本校は其過去三十年即ち法人三つ子の魂を百までも維持し眞正なる、高尚なる意義に於て華を去り実に就かれんことを希望して止まず。此祝典に臨み本校の過去に對して稱賛祝賀の意を表すると同時に、本校の将来に對しては余の囑望の必らず空しからざるを思ひて恭しく祝福の意を表す。

○中央大学創立三十年記念式祝辞

理学博士 男爵 菊池大麓

本日中央大学創立三十年記念式を挙げらるるに当り此盛儀に列して祝辞を述ぶることを得ましたのは私の最も光榮に存する所であります

私は本大学とは今日まで直接何等の關係もなかりしものてこさいます併しなから本大学の創立は私の最も尊敬する畏友の方に依て企てられ而して余所ながら其経営方法を窺ひまして常に教育上に於ける其成績に付て嘆服しつつありました仍て数日前本大学から記念式に出席して何か話す様にとのこと故喜んで取敢へず承諾を致しました本大学創立の当時は吾邦に未だ法律と称すへきもの完備せず法学を学ぶに外国の法律に拠るの外無かつたのであります故に或は英法或は仏法或は独法と各々其拠る所を異にし従て其学風にも自から異なる所がありましたのです本大学は英吉利法律学校の名を以て其業を創められ専ら英法に拠られた蓋し其趣旨は英吉利法律の真摯著実常識を重んじ実用を尚ふの学風を取りて我国家有用の材を養はんとしたのであると聞き及んで居ります爾來三十年文運の進歩と共に法律制度自ら發達し之に応じて本大学の規模も皇張されて今日に於ては其組織大に完備して非常の盛運に向はれました惟ふに既往三十年間は即ち本大学の急速なる發達進歩の行程でありますと同時に我大日本帝国に於ける文明學術の急速なる發達進歩の行程であります其間種種變遷の事跡もこさいますか唯本大学の前後を一貫して替らざるものは則ち其真摯著実常識を主とし実用を尚ふの学風であつて之に依りて養成されました俊秀の士は朝野に溢れ多士濟濟天下の壯觀を成しつつありまするか是れは決

して偶然ではございません

且本大学は個人的勢力に依りて成立したものはなく同志同学の方々の共同経営であつて曾て政府の保護を受けたり権門富豪と夤縁を相結んだりしたことか更になかつたと承はつて居ります虚名高からされとも其基礎は鞏固でありまして実に私立大学の模範であります其将来に於ける進運は如何はかりか惟ふに只今より測り知ることの出来ぬ程であります誠に御祝ひ申上げざるを得ぬ次第でございます

終りに私は本大学の前途を祝福する為め一言私の希望を附加へて置きます只今本大学三十年史を戴き、それを拜見しますものに大学の外に予備科、英語科、珠算科といふやうなもの設備があるやうてありまするか私は斯る設備を充分に御拡張になり高等普通学の完全なる知能を鍊磨する所とし、即ち私の唱へて居る所の学芸大学と致し度いのでありますか、而して其上に最上府を置くやうに致したいと存します即ち私の考案は英米の所謂 Art course, academie course 又は college course など唱ふるものて之を修めて後直に実務に就くを得べく又之を基礎として高等専門の學術的教育を受くるは最も完全なるものと確信して居ります、とうそ本大学は天下に率先して斯る方針に向つて改革の歩を進め以て其發展を期せられんことを希望致します（拍手）